

図書委員いち押しの本・作家

石川県の新人作家

紅玉いづき

皆さんは紅玉いづきを知っていますか？

デビュー作の『ミミズクと夜の王』で第十三回電撃小説大賞・大賞を受賞した石川県金沢市出身、在住の話題の新人作家です。

彼女の作品を少しだけ紹介します。

『ミミズクと夜の王』
これは作者が高校三年生のときに書いた作品です。

「332」と額に焼き印を押された少女が魔物の森へ行くところから始まります。少女の願いは魔物に自分を食べてもらうこと。「あたしのこと、食べてくれませんかあ……。」人間嫌いの魔物と食べてもらおうと居座り続ける少女の深く美しい話です。

『MAMA』

エリート一族に生まれたおちこぼれ魔術師の少女トトが数百年前に封印されたへ人喰いの魔物の封印を解いてしまい、彼女は耳を食べられてしまいます。彼女はその孤独な魔物にホーイチと名前をつけて懸命に彼のマ

マになろうとします。悲しくて怖い、でも深く愛しい物語です。

この他に『雪蟻』、『ガードン・ロスト』があります。

どの作品も話はストリートで深いのにどこかいびつな所が魅力的です。読む人によってその感想は千差万別ですが、読み終わったときに必ず何か心が残る話です。

一年 野村 奈生

この三組に注目！

伊坂幸太郎

『重力ビエロ』や『ゴールデンランバー』など多くの作品が映画化されている。作品には個性的な人物が多く登場しており、話のテンポも軽く読みやすい。また、ミステリーなのに少し笑える話も多く、幅広い世代の人に愛されている。

大森兄弟

このペンネームは、地名由来しているらしい。彼らは実の兄弟で、細かい役割分担はせずメールなどで一つの作品を作り出している。昨年、『犬はいつも足元について』が芥川賞候補や

文藝賞受賞作品に選ばれ、注目を浴びている。

小島 達矢

元ストリートダンサーという作家としては珍しい経歴を持っている。心臓が悪いことからダンスをやめ、本を読み始めたことが本を書き始める契機となった。『ペンハムの独楽(こま)』が第五回新潮エンターテイメント大賞に選ばれ、二十三歳という年齢と元ストリートダンサーという経歴によって作家界に新

風を巻き起こすと期待されている。

作家によって表現や話の進め方、視点などがかなり違っている。そのたぐさんの作家の特徴から自分が気に入るものを見つけてるのは難しいかもしれない。しかし、まず本を手に取り最初の数行だけでも見てほしい。数行だけでも何か惹かれる作品があるはずだ。そこから、本に親しんでいく欲しい。

一年 中山裕美子

『屋上ミサイル』

山下貴光

主人公の茜は偶然屋上で不良の国重と出会い、彼に誘われて

二年 岡田 菜月

屋上部に入る。個性派だらけの屋上部のメンバーに共通していることは、みんな屋上を愛しているということ。そんな彼らが愛する屋上に次々と奇妙な事件が持ちこまれる。屋上の平和を守るため彼らは立ち上がるが……。物語前半の伏線が後半になって次々とびったりはまっていき、読んでいてとても心地良いです。また、ただのミステリー小説でなく、コメディや青春も盛り込まれているので、ミステリーもが苦手な人も最後まで楽しく読めると思います。きっと、読み終わる頃には屋上部に入りたくなっているでしょう。

クロスワードパズル

<□をうまくならべるとある人物名が>

【たて】

1. 東野圭吾 作「○○○○○Xの献身」
2. 夕張○○○
3. 志賀直哉 作「○○○○にて」
4. 柳田理科雄の人気シリーズ「○○想科学読本」
6. 石田衣良の小説で長瀬智也主演でドラマ化「○○○○ウエストゲートパーク」
7. 今、東京 昔、○○
10. 人がいなくて寂しい ○○地域
11. 雑多な物事・方面にわたる、系統立っていない学問・知識
13. 東野圭吾 作「ガリレオの○○○」
16. ブーさん

【よこ】

1. 乳ガンを題材としたノンフィクション物語「○○○1ヶ月の花嫁」
3. ルース・ベネディクト 作「○○と刀」
5. 確実でない記憶 ○○覚え
6. 「スラムダンク」の作者 ○○○雄彦
8. 宮沢賢治の童話作品「○○河鉄道の夜」
9. 僧侶の服
10. 東京都中央区銀座にある劇場、今年5月～建替え
12. 10歳の少年たちに起こった一生忘れがたい○○○○をめぐる物語 村山由佳 作 ○○○○
14. あさのあつこ 作「弥勒の○○」
15. 映像を記録すること
17. 太宰治 作「人間失格」映画化で主演を務める生田○○○
18. 清少納言の随筆「○○○のそうし」

答は最後のページ

1年 三谷 藤恵

